

大隅地域感染症情報 2018

第33週報（8月13日～8月19日）
大隅地域振興局保健福祉環境部

○定点医療機関からの定点当たり報告数

- ・ 鹿児島県全体の手足口病警報は解除されました。
- ・ 鹿屋保健所管内、志布志保健所管内共に、感染性胃腸炎が前週より増加しています。

| 疾病 | 警報レベル 開始/終息 基準値 | 注意報 基準値 | 鹿屋保健所管内推移 | | | | 志布志保健所管内推移 | | | | 大隅全体 | 県全体 |
|---------------|-----------------------|------------|-----------|------|------|-------|------------|------|------|------|-------|------|
| | | | 30週 | 31週 | 32週 | 33週 | 30週 | 31週 | 32週 | 33週 | 33週 | 32週 |
| インフルエンザ | 30.00/10.00 | 10.00 | 0.13 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.40 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.08 |
| RSウイルス感染症 | - | - | 1.60 | 3.20 | 2.20 | 2.80 | 2.67 | 0.33 | 0.33 | 1.67 | 2.38 | 3.21 |
| 咽頭結膜熱 | 3.00/1.00 | - | 0.40 | 0.20 | 0.80 | 1.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.63 | 0.94 | |
| A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 8.00/4.00 | - | 1.00 | 0.60 | 0.60 | 0.60 | 0.33 | 3.00 | 0.67 | 2.33 | 1.57 | |
| 感染性胃腸炎 | 20.00/12.00 | - | 5.20 | 6.40 | 8.20 | 11.40 | 8.67 | 6.33 | 4.67 | 8.33 | 10.25 | 6.96 |
| 水痘 | 7.00/4.00 | 4.00 | 0.20 | 0.20 | 0.40 | 0.40 | 0.00 | 0.33 | 0.00 | 1.00 | 0.63 | 0.13 |
| 手足口病 | 5.00/2.00 | - | 0.60 | 1.80 | 1.20 | 0.80 | 2.00 | 1.33 | 0.67 | 1.33 | 1.00 | 1.47 |
| 伝染性紅斑 | 2.00/1.00 | - | 0.00 | 0.00 | 0.20 | 0.20 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.13 | 0.08 |
| 突発性発疹 | - | - | 0.40 | 1.00 | 0.60 | 0.60 | 0.33 | 0.00 | 0.00 | 0.67 | 0.63 | 0.26 |
| ヘルパンギーナ | 6.00/2.00 | - | 1.60 | 0.00 | 0.40 | 0.60 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.33 | 0.50 | 0.51 |
| 流行性耳下腺炎 | 6.00/2.00 | 3.00 | 0.20 | 0.60 | 0.00 | 0.40 | 0.00 | 0.67 | 0.33 | 0.67 | 0.50 | 0.45 |

■ 警報基準値以上 ■ 注意報基準値以上

○手足口病について ※鹿児島県全体の流行発生警報は解除されました 【 警報開始基準値 5.00, 警報終息基準値 2.00 】

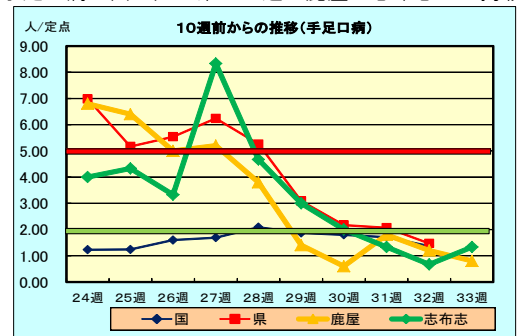
(手足口病一図1) ※第33週は鹿屋・志布志のみ掲載

手足口病の発生状況は、

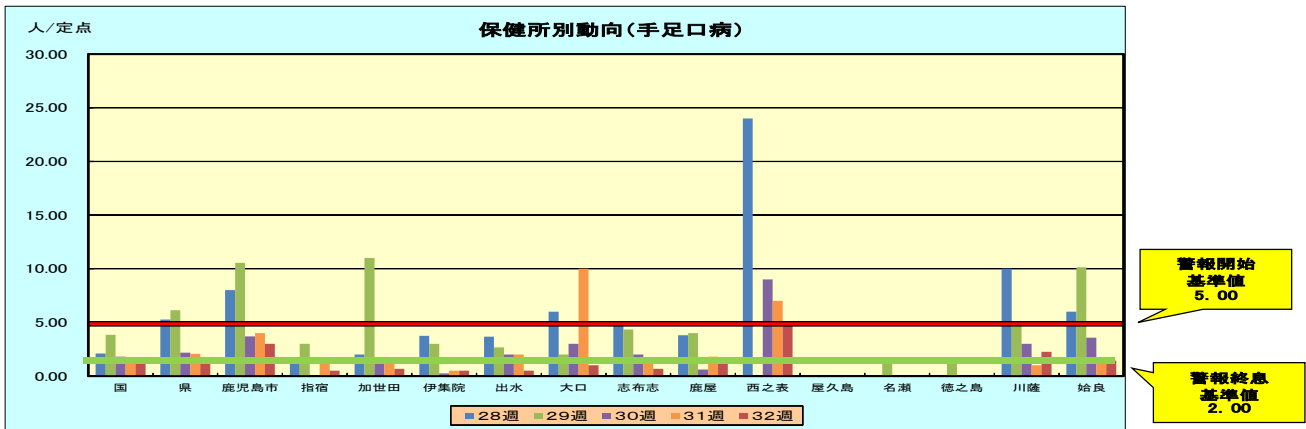
鹿屋保健所管内からは4名（定点当たり報告数 0.80）の報告がありました。

志布志保健所管内からは4名（定点当たり報告数 1.33）の報告がありました。

年齢別では、1歳及び3歳が最多でした。



(手足口病一図2) 県内保健所別手足口病報告



○感染性胃腸炎について

【 警報開始基準値 20.0, 警報終息基準値 12.0 】

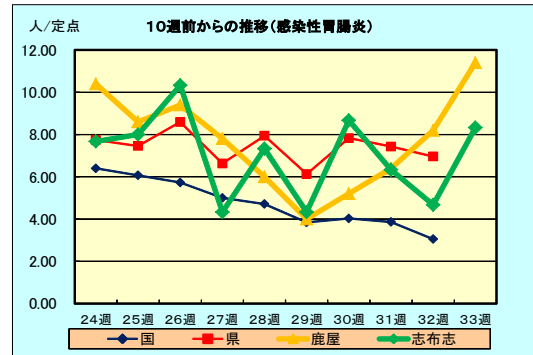
(感染性胃腸炎一図1) ※第33週は鹿屋・志布志のみ掲載

感染性胃腸炎の発生状況は、

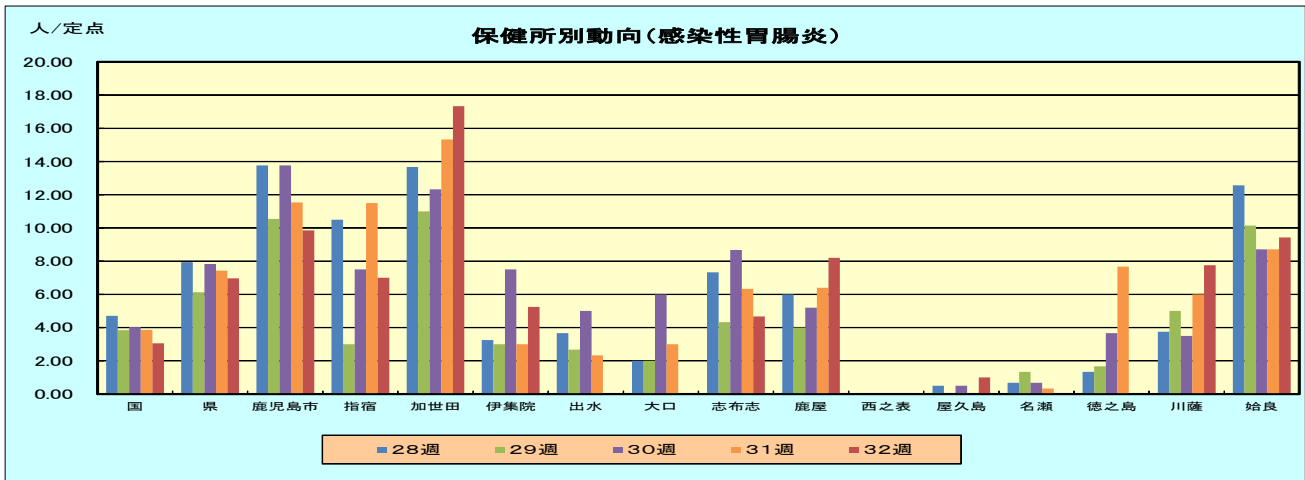
鹿屋保健所管内からは57名(定点当たり報告数11.40)の報告がありました。

志布志保健所管内からは25名(定点当たり報告数8.33)の報告がありました。

年齢別では、4歳が最多でした。



(感染性胃腸炎一図2) 県内保健所別感染性胃腸炎報告



感染性胃腸炎について

夏場は細菌(腸炎ビブリオ、病原性大腸菌、サルモネラ、カンピロバクタなど)による胃腸炎や食中毒が増加します。

食中毒の原因となる細菌にはたくさんの種類がありますが、その中でも腸管出血性大腸菌等は病原性が強く少量の菌でも発症するため、子どもや高齢者、免疫力の低下している人は特に注意が必要です。

次のことに気をつけて、食中毒防止に心がけてください。

食中毒予防の三原則

①菌をつけない

十分な手洗い, 食材の洗浄, 調理器具の洗浄・消毒

②菌を増やさない

冷蔵・冷凍保存, 調理は迅速に, 調理後は時間をおかずに食べる

③菌をやっつける

十分な加熱(75℃1分以上)

